

和歌山だよいい

令和4年 8・9月号
(2022)



古座川の清流 (古座川町)

川底までくっきり見通せるほど透明度が高い清流古座川。
大塔山から熊野灘に至る古座川流域には、一枚岩、天柱岩、滝の拝といった和歌山県を代表する岩峰や美しい溪谷地形などがあり、様々な表情を見せてくれます。(写真提供:公益社団法人和歌山県観光連盟)

CONTENTS

- 1 知事メッセージ p. 1
- 2 和歌山県政トピックス p. 2 ~ 8
- 3 お知らせ p. 9 ~ 13
- 4 ふるさと歳時記 p. 14



祝 日本一 二つ

このところ都道府県ランキングで和歌山県が堂々一位という発表が二つありました。

一つは「元気な人」が多い都道府県ランキングで、男性、女性とも和歌山県が日本一。もう一つは宿泊旅行の都道府県魅力度ランキングで、総合満足度で和歌山県が日本一です。

前者は一般社団法人日本リカバリー協会が行ったもので、厚生労働省のストレスチェック制度の健康状態項目をもとにして、ストレスが少なく元気だと感じている人の割合が和歌山県が一番高いという調査結果です。人生元気で伸び伸び楽しく暮らすことが何よりですから、そこで日本一というのは、和歌山県として大いに誇ってよいことだと思います。元気に暮らしたい人は、どうぞ和歌山でお住まいいただいたらと思います。

後者は㈱リクルートのじゃらんリサーチセンターの調査で、いろいろと旅行先の各要素について聞いた上、最後に総合満足度を聞いたところ、和歌山県が最高であったということです。ここ数年間、旅行先の魅力度についての内外の各種調査で和歌山県の評価がどんどん高まっていましたが、とりわけ海外の旅行メディアが行う調査で、今年行くべき世界中の旅行スポットとか、環境のサステナビリティから考えた世界の観光地とかに和歌山が取り上げられることが頻発していましたが、とうとう日本の旅行先でも総合満足度日本一になったかと思無量であります。県も頑張りましたが、協力してくれた世界中のオピニオンリーダー、そして何よりも関係する県民の皆さんの努力のたまものと思います。

めでたし、でありますので、和歌山県民は黙っていないで、全員でこのことを世界に向けて発信しましょう。

とは言え、政策当局者としては浮かれてばかりいられません。「元気」について言えば、県民の実際の健康長寿度ももっともっと高めたいし、「旅行先」について言えば、食べ物の美味しさや土産物や宿泊施設等の個々の評価ももっと高めるように努力しなければなりません。これをきっかけにして、県民の皆さんと力を合わせて頑張っていきましょう。

和歌山県知事 仁坂 吉伸



7/19 記者会見にて

●世界との対話と協働「第8回アジア・オセアニア高校生フォーラム」を開催しました

県では、県内外の高校生とアジア・オセアニアの国や地域の高校生が、世界共通の課題について意見交換することにより、グローバルな視点で物事を捉える力と、様々な国や地域の方々とのコミュニケーション力を養うとともに、国際社会で活躍できるリーダーを育成することを目的として、「アジア・オセアニア高校生フォーラム」を平成27年度から毎年開催しています。



国内外の生徒達が議論を行い、友好を深めました

新型コロナウイルス感染防止のため、今年もWeb会議形式で実施し、17の国と地域から参加した27名の高校生の皆さんと県内45名・県外10名の高校生の皆さんが、7月25日～27日の3日間のプログラムで「津波・防災対策」「環境問題」「ダイバーシティ」「教育問題」「食糧問題」について、全て英語による熱い議論を交わし、友好を育みました。



知事へのインタビューの様子

の皆さんにも視聴してもらいました。

本フォーラムに参加した生徒からは、「他のグループの発表を聞いて、今まで触れたことのなかったような知見を得ることができた」「大学に入ったら国際関係を専攻したいと思っているので、このようなスピーチやディベートの機会をいただけたのはとても有益な経験だった」といった感想が寄せられ、大変充実した3日間となりました。

県では、「世界とつながる愛着ある元気な和歌山」の実現をめざして、引き続き本フォーラムをはじめ、様々な取組を進めていきます。そして、高校生の皆さんが本フォーラムの参加・視聴を契機として、国際的な課題や国際文化等に関心を持ち、将来、和歌山から世界に羽ばたき活躍することを大いに期待しています。

また、県立桐蔭高等学校2年生の生徒が、「本フォーラム開催の意義」「海外赴任時の経験」などについて、全編英語で仁坂知事にインタビューを行いました。

その様子を紹介した開会式をはじめ、分科会・全体会の模様についてはライブ配信を行い、県内の高校生

● 「宇宙シンポジウム in 串本」を開催しました

スペースワン株式会社による国内初の民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」の建設工事が完了し、いよいよ本年末に小型ロケット「カイロス」初号機が打ち上げられます。

また、令和6年度から県立串本古座高等学校に「宇宙探究コース」を新設することとしています。



有識者によるパネルディスカッションの様子

県では、このようなロケット初号機打ち上げに向けた気運を醸成するとともに、宇宙産業の集積及び宇宙人材の育成の重要性を多くの方に知っていただくため、7月24日に「宇宙シンポジウム in 串本」を開催しました。

令和元年度より毎年開催し、4回目となる本シンポジウムでは、第1回目から御登壇いただいている東京大学大学院教授の中須賀真一なかすかしんいちさんをはじめ、日本を代表する宇宙関係者の皆さんに講演やパネルディスカッションを行っていただきました。そして、県立串本古座高等学校の生徒の皆さんには、シンポジウムの受付や司会などの運営に加え、発表も行ってもらいました。



アバターロボット「newme」体験デモ会の様子

また、同日 avatarin 株式会社の御協力のもと、自分の代わりとして遠隔操作できるアバター(分身)ロボット「newme」の体験デモ会が行われました。アバターロボットにより、物理的距離を超越した遠隔体験も可能となる等、様々な分野での活用が期待されています。

県では、引き続き地元関係者と共に見学客の誘客や交通渋滞対策の準備を進めるとともに、ロケットや宇宙の魅力と宇宙を取り巻く最新の技術革新などの情報発信に全力で取り組んでいきます。

< 「宇宙シンポジウム in 串本」に御登壇等いただいた方々 >

- ・ 東京大学大学院教授 中須賀 真一なかすかしんいち 氏
- ・ 株式会社Synspective執行役員／ビジネス開発部ゼネラルマネージャー 浅田 正一郎あさだ しょういちろう 氏
- ・ 株式会社ALE代表取締役CEO 岡島 礼奈おかじま れな 氏
- ・ avatarin株式会社代表取締役CEO 深堀 昂ふかほり あきら 氏
- ・ スペースワン株式会社代表取締役社長 豊田 正和とよだ まさかず 氏
- ・ スペースワン株式会社最高顧問／日本宇宙少年団専務理事 遠藤 守えんどう まもる 氏
- ・ 県立串本古座高等学校の皆さん

●「和歌山県文化表彰受賞記念講演～無限の可能性に魅かれて～」を開催しました

県では、昭和 39 年度から文化の向上発展に特に顕著な功績のある方々に「和歌山県文化表彰」をお贈りしております。

このたび、令和 3 年度に文化賞を受賞された航空宇宙工学者の久保田弘敏くぼたひろとしさんに、7 月 9 日に有田川町のきびドームで記念講演を行っていただきました。

久保田さんは、有田川町出身。東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了。航空宇宙工学、特に航空機及び宇宙機の空気力学・熱空気力学、宇宙システム工学の世界的な研究者であり、第 3～5 期科学技術基本計画の策定、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の発足への寄与等、日本の科学技術の発展と産業振興を牽引されました。

また、日本航空宇宙学会会長、日本ロケット協会理事、宇宙科学振興会理事等を歴任されるとともに、小中高校生を対象としたサイエンスキャンプや本県を含む各地域での講演会の開催など、一過性のもので終わらせない久保田さんの人材育成活動により、将来の宇宙分野を担う若者達が着実に育まれています。

講演会では、久保田さんに「宇宙への夢の実現へ」と題して、時代を超える宇宙の無限の可能性について、貴重な映像を交えながら宇宙科学技術の進展の歴史を辿るとともに、宇宙への夢や和歌山県の宇宙活動に対して期待することを深く丁寧に分かりやすくお話しいただきました。



宇宙の無限の可能性について話す久保田さん



会場が美しい旋律に包まれました

また、「無限の可能性」をテーマに、宇宙と音楽、科学と芸術の両面の素晴らしさを味わえるプログラムとして、平成 29 年度県文化奨励賞を受賞されたチェリストの谷口賢記たにぐちまさのりさんが、ピアニストの若桑わかぐわまゆさんとの共演による美しい演奏で会場を魅了しました。

県では、「未来を拓くひとを育む和歌山」の実現に向け、引き続き、和歌山県文化表彰受賞者の皆さんの功績を顕彰する取組を進めていきます。

●「わかやまスマート農業フェア」を開催しました

本県は、果実の生産が農業産出額の65%以上を占め、特にみかん、うめ、かきは全国1位の生産量を誇っています。

令和3年度新規就農者数は161名と、農業への関心の高まりとともにこの5年間で最多を記録し、このうち非農家出身で就農した新規参入者が58名と最も多く、次いでUターン就農者が57名となっています。その一方で、担い手の高齢化等により県内の農家数及び基幹的農業従事者数は年々減少しており、農業における労働力不足の解消が喫緊の課題となっています。

そのため、県ではロボット技術・AI・IoT等の先端技術を活用して、農作業の省力・軽作業化や高品質生産を実現する「スマート農業」を推進しています。



スマート農業に関する講演会の様子

そのための事例を交えた講演も実施しました。来場者の皆さんは興味のあるスマート農機を試してみたり、出展企業による説明や講演に聞き入っていました。

また、7月28日と29日には県内3会場において、ラジコン草刈機や農業用ドローンなどを実際の農業現場で体験できる「わかやまスマート農業実演会」を開催しました。

このほか、スマート農業技術の導入により収益性の高い農業を目指す農業者を対象として、施設環境制御の専門家による技術的な講義と現地研修等を行う「わかやまスマート農業実践塾」も実施しております。県では今後も、農業者の皆さんにスマート農業の利点や魅力をお伝えすることで、更に理解を深めていただくとともに、現場へのスマート農業導入を推進していきます。



出展企業による農業用自動無人機の説明の様子

●令和4年度第1回「高校生のための和歌山未来塾」を開催しました！

県では、県長期総合計画における教育分野のめざす将来像「未来を拓くひとを育む和歌山」の実現に向けて、ふるさとの豊かな自然・文化を誇る態度や科学技術等に対する探究心を育て、国際社会の中で豊かに生きる力を高めるため、様々な分野のオピニオンリーダーを招いて、教育講演会「高校生のための和歌山未来塾」を開催しています。

また、未来塾では、生徒が講演を聞いて感じたことや疑問に思ったことなどについて、講師の方と双方向のやりとりを行い、考えを深める質疑応答や意見交換の時間を設けているのが特徴です。

7月10日に開催した第1回の未来塾には、有田川町出身で、東京大学名誉教授・帝京大学元客員教授の久保田弘敏^{くぼたひろとし}さんを講師として招き、「ロケットと人工衛星の“なぜ”を考えてみよう～宇宙システム工学のすすめ～」をテーマに講演を行っていただきました。

久保田さんからは、今や宇宙は「未知の存在で、開発しなければならないもの」から「利用して人類に貢献するもの」となり、一般の人の宇宙旅行も夢ではないことや、自身が長年、宇宙飛行体の空気力学・空気熱力学及び宇宙システム工学の研究に携わられた中で感じた、ロケットや人工衛星の「なぜ」について、生徒に問いかけながら分かりやすく話していただきました。

質疑応答では、生徒から「天候の影響を受けない宇宙なら、安定した太陽光エネルギーの供給は可能なのか」との質問に対して、「宇宙空間に巨大な太陽光



生徒たちは久保田さんの講演に熱心に聞き入りました

ベ^まーションベースの代表理事で本県の起業家支援等に取り組まれている前田^{まへだ}効多郎^{こうたろう}さん（社会福祉法人檸檬会理事長）をはじめ、各分野の第一線で活躍される方々の講演を予定しており、県では引き続き、生徒の学びに対する意欲に応える機会を設けるとともに、未来の可能性を広げる取組を行っていきます。



久保田さんの講演の様子

●「じゃらん宿泊旅行調査 2022【都道府県魅力度ランキング編】」にて和歌山県が“総合満足度”「全国1位」を獲得しました！

このたび、株式会社リクルートの観光に関する調査・研究、地域振興機関「じゃらんリサーチセンター」が、全国1万4,123人の宿泊旅行者を対象に行った「じゃらん宿泊旅行調査 2022【都道府県魅力度ランキング編】」において、和歌山県が“総合満足度”『全国1位』を獲得しました。



白良浜（白浜町）
（写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟）

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、宿泊客数が減少する中で、県民を対象とした「わかやまリフレッシュプラン 2nd・3rd」を展開するとともに、「蘇りの地、わかやま」宿泊得々キャンペーンや「わかやま・まるごとスタンプラリー」等の県内を周遊する様々な企画を実施してきたことが今回の結果に繋がりました。

また、今年のゴールデンウィークの10日間（4月29日～5月8日）に和歌山市や白浜町などの主要観光地を訪れた観光客数が75万8,100人となり、コロナ禍前の平成30年の7割まで回復してきています。

県では、令和5年「弘法大師空海御誕生1250年」、令和6年「世界遺産登録20周年」、令和7年「大阪・関西万博」の期間を「ダイヤモンドイヤー」と位置付け、コロナ禍からの反転攻勢をめざしており、今回の「全国1位」の獲得を励みとして、今後も県内各地にある観光資源の魅力をより一層全国に発信するとともに、更なる誘客・周遊促進に向けた取組を積極的に行ってまいります。

令和3年度			令和2年度		
順位	都道府県	総合満足度	順位	都道府県	総合満足度
1位	和歌山県	91.0%	1位	沖縄県	91.6%
2位	沖縄県	90.8%	2位	福井県	89.0%
3位	三重県	89.7%	3位	京都府	89.0%
4位	北海道	88.3%	4位	石川県	88.9%
5位	京都府	88.1%	5位	北海道	88.8%
6位	青森県	88.0%	6位	山梨県	88.7%
7位	福井県	87.8%	7位	岐阜県	88.7%
8位	長崎県	87.5%	8位	和歌山県	88.3%
9位	静岡県	87.2%	9位	大分県	88.2%
10位	大分県	87.1%	10位	宮城県	88.0%

【出典：じゃらん宿泊旅行調査 2022（調査時期 2022年4月1日～2022年4月21日 調査対象 2021年度）】

●東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村ビレッジプラザで使用された紀州材を再利用しました！

昨年開催された東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の関連施設である「選手村ビレッジプラザ」は、「日本の木材活用リレー～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～」と称し、本県を含む全国 63 の自治体が木材を提供し建設されました。

本県からは強さや美しさで評価が高い紀州材（スギ・ヒノキ約 23 m³）を納材し、世界中から日本に訪れた選手や大会関係者の皆さんに、優しさと安らぎの空間をお届けしました。

これらの木材は、大会終了後に「レガシー木材」として各自治体に戻され、このたび、「紀三井寺公園陸上競技場」と「秋葉山公園県民水泳場」の木質化のために再利用しました。

県では、今後も強度と耐久性に優れ、香りと色合いの良い紀州材の魅力を発信するとともに、民間を含む建築物の木造・木質化と公共土木工事への利用推進を図っていきます。



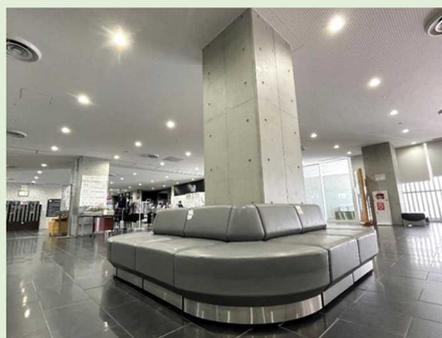
大会での役目を終えた「レガシー木材」

【「レガシー木材」再利用の状況】

■紀三井寺公園陸上競技場 展示ケース（和歌山市毛見200）



■秋葉山公園県民水泳場 エントランスホール（和歌山市秋葉町4-11）



● 県立紀伊風土記の丘 夏期企画展「くだものの民具—うめ・かき・みかんの農業遺産—」を開催中です！

県立紀伊風土記の丘では、現在、夏期企画展として「くだものの民具—うめ・かき・みかんの農業遺産—」を開催しています。

和歌山では、温暖な気候を利用して古くから果樹を盛んに栽培し、その果実を商品作物として生産・加工してきました。

特に、みかんや梅干しは、江戸時代から紀州の名産として全国に知られ、明治時代になると紀北地域を中心にかきの栽培が盛んになり、それぞれ栽培技術の近代化と交通網の発達によって日本各地に出荷されるようになりました。



柿の皮剥き機（かつらぎ町 四喜の会蔵）

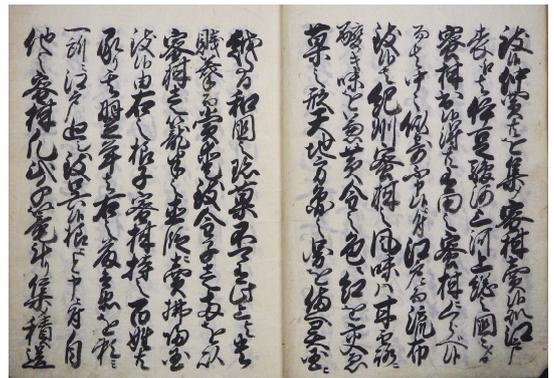


水崎式選果機（有田市教育委員会蔵）

中でも、和歌山の特産物として知られるうめ・かき・みかんは、全国1位の生産量とシェアを誇り、このうち、うめは世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」に、みかんは日本農業遺産「下津蔵出しみかんシステム」、「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」にそれぞれ認定されるなど、長い歳月をかけて生産技術の改良が重ねられ、地域を

挙げてその振興が図られています。

今回の企画展では、江戸時代から近現代にかけて栽培・生産された和歌山になじみ深いくだものにまつわる民具と生産技術を展示するとともに、くだもの栽培の歴史や変遷、日本を代表する農業遺産にも選ばれる農業システムの特徴について紹介していますので、ぜひお越しください。



紀州蜜柑伝来記（和歌山県立図書館蔵）

<開催概要>

会 期 令和4年7月16日（土）～9月4日（日）

開館時間 9時～16時30分（入館は16時まで）

休 館 日 毎週月曜日（*月曜日が祝休日の場合は次の平日）

入 館 料 一般190円(150円)・大学生90円(70円) *（ ）内は20名以上の団体料金

*高校生以下、65歳以上の方、障害のある方、県内に在学中の外国人留学生は無料

*毎月1日は入館料無料（1日が休館日の場合は次の開館日）

●統計データ利活用冊子「統計のおはなし」を作成しました！

県では、県内の児童・生徒が公的統計の重要性を理解し、統計的思考を身につけるための取組を推進しています。

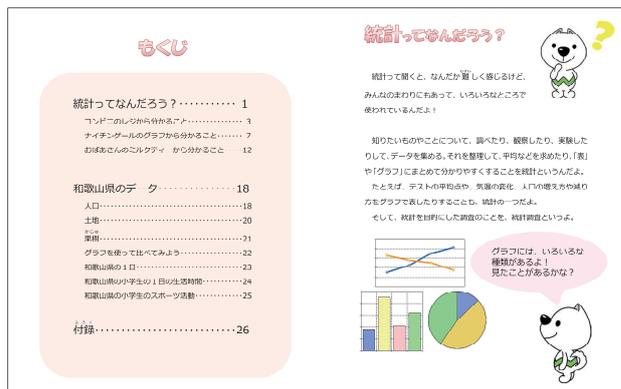
このたび、統計データの利活用について理解を深めてもらうため、統計データ利活用冊子「統計のおはなし」を作成し、県内全ての小学6年生へ小学校を通じて配付しました。今年度で6年

目となる本冊子では、コンビニの売上の曜日ごとの変化など、統計が身近なところで活用されていることをクイズやイラストで分かりやすく説明しています。

本冊子で学習した児童・生徒からは、「自分たちの生活に統計が活用されていることに気付いた」「果樹の収穫量で和歌山県が1位のものが多いことに感動した」等の感想が寄せられています。

県調査統計課ホームページ上で、電子版（PDF形式）を公開していますので、ぜひご覧ください。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020300/documents/rikatsuyou/index.html>



「統計のおはなし」の内容イメージ

●特別展「海水と淡水の交わる場所～汽水にくらす魚たち～」開催中！

県立自然博物館では、令和4年度の特別展として「海水と淡水の交わる場所～汽水にくらす魚たち～」を開催しています。

海の水と川の水が出会う「汽水域」には、体の大きさもグループも様々な魚類が生息しており、水槽展示8点、魚類の標本100点により、その生態等を分かりやすくご紹介します。

私たち人類にもたくさんの自然の恵みをもたらしてくれる汽水域の大切さと、その面白さを感じ取っていただくため、県立自然博物館にぜひお越しください。



標本展示の様子

<開催概要>

- 会 期 令和4年7月16日（土）～9月4日（日）
- 開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
- 休 館 日 毎週月曜日（*月曜日が祝休日の場合は次の平日）
- 入 館 料 大人480円(350円) * ()内は20名以上の団体料金
*高校生以下、65歳以上の方、障害のある方、県内に在学中の外国人留学生は無料
*毎月最終水曜日(ただし11月は22日)は入館料無料

●ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）のご案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを頂いております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイトをご利用ください。

また、和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品等の中から、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良産品をぜひご堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附にご協力いただきますようお願い申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

各ポータルサイトのQRコードはこちら

ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



ふるラボ



JALふるさと納税



***** ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては *****

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 棚野、宮田、小弓場

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 前

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

① 新型コロナウイルス感染症対策【お礼の品なし】

新型コロナウイルス感染症の対策をすすめます。



⑧ 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援

和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。

- 理系の大学生等を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円助成します。



② 生涯スポーツ・文化の振興

全国規模の大会の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。

- ワールドマスターズゲームズ関西
- 全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会などの開催をすすめます。



⑨ 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実

和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。

- 県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。
- 県立図書館の蔵書の充実をすすめます。



③ 子供たちの教育環境の充実【お礼の品なし】

各学校において、「教育環境の充実」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。

母校など寄附をしたい高等学校（私立も含む）や特別支援学校があれば指定することができます。



⑩ わかやまの美しい海づくり

黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及ぶ長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさとの海を守り、より美しくして海のレクリエーションを盛んにします。

- 白良浜海水浴場
- 片男波海水浴場などの砂浜の整地をすすめます。



④ がん対策の充実

和歌山はがんで亡くなられる方が多い県です。がんになっても安心して治療が受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。

- 所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。
- 若年がん患者の方に対して、生殖機能の温存や療養生活の充実に向けた支援を行います。



⑪ わかやまの文化財の保護

和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところです。ふるさとの大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。

- 国・県指定文化財の建造物修理や史跡整備などを支援します。



⑤ 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援

和歌山県は、犬・猫の殺処分をなくすことを目標に、地域猫活動や新しい飼い主を探す活動に取り組む地域住民やボランティアを支援しています。

- これまでの活動で約5,300匹の野良猫に不妊去勢手術が施され、新しい家族が見つかった犬・猫は約2,000匹います。この支援を継続して、早期に「殺処分ゼロ」を実現します。



⑫ 大切なふるさとの森を守り育てる

和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や渇水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえのない森林を守り育て、継承していきます。

- 和歌浦地区等の松くい虫防除対策をすすめます。



⑬ 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用

和歌山の世界遺産をかけがえのないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。

- 参詣道の維持管理・パトロールを行います。
- 世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。



⑭ わかやまのナショナル・トラスト

和歌山は、みどり豊かな山々と雄大なリアス式海岸など、かけがえのない自然や歴史的資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次の世代に引き継いでいきます。

- 県民の公有財産として未永く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。



⑦ 南紀熊野ジオパークの推進

令和元年7月に完成した「南紀熊野ジオパークセンター」を拠点に、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進します。

- 南紀熊野ジオパークセンターの充実をすすめます。



⑭ わかやまの農林水産業の振興

和歌山県の農林水産業は、地域経済や雇用を支える重要産業であり、食料供給や自然・景観保全など、様々な役割を果たしています。大切な農林水産業を振興し、次の世代に引き継いでいきます。

- 農林水産業の担い手の確保・育成対策を充実させます。
- 農林水産業の生産性の向上をすすめます。
- 農林水産業の魅力を国内外へ発信します。



※充当事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

●和歌山の食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」の御案内

県では、県産品を生産販売する県内事業者の商品販売ページを紹介するインターネットショッピングモール「おいしく食べて和歌山モール」を開設しています。和歌山の特産品である果物や果実加工品、しらす・干物などの水産加工品、菓子類など様々な商品をご紹介します。

大手ショッピングモールサイトと自社のサイトで同時に商品を販売しているなど、同一の商品について販売サイトが複数ある場合は、商品購入用リンクを並列して複数掲載し、消費者の好みに合わせて購入できるようにしています。

また、今回の特集企画は「梅干し」をクローズアップ。”梅干し”をテーマに様々な企画・イベントの開催や、東京ソラマチにて梅干し専門店「立ち喰い梅干し屋」などを運営する(株)バンブーカットの代表 竹内順平さんに、様々な梅干しの魅力や楽しみ方をご紹介します。

立秋も過ぎ、暦の上では秋ですが、梅ポリフェノールやクエン酸など、体に良いとされる成分をたくさん含む梅干しを食べて、暑い季節乗り切りましょう！



「おいしく食べて和歌山モール」を通じ“食の宝庫和歌山”の魅力を感じていただくとともに、県産品を購入される際は、ぜひご活用ください。

イベント情報（9月下旬～10月中旬）

***新型コロナウイルス感染症の影響等により、規模の縮小や中止となる場合があります。最新の情報は、各主催者へお問い合わせください。**

開催日・時期	行事名	場所	問い合わせ先
9月下旬	献湯祭	熊野本宮大社 (田辺市)	熊野本宮大社 0735-42-0009
9月30日 10月1日	弁慶まつり	鬮鶏神社他 (田辺市)	弁慶まつり実行委員会 0739-22-5064
10月9日	「笑い祭」丹生神社例 大祭	丹生神社 (日高川町)	日高川町観光協会 0738-22-2041
10月中旬	泣き相撲	山路王子神社 (海南市)	山路王子神社 073-494-0455
10月16日	伊太祁曽神社例祭「神 幸祭」	伊太祁曽神社 (和歌山市)	伊太祁曽神社 073-478-0006

自然・風物情報（10月上旬～10月中旬）

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
10月上旬	「落ちアユ」漁解禁	県内各河川	和歌山県内水面漁業 協働組合連合会 0736-66-0477
10月上旬	ミニトマト・かすみ草 収穫始まる	印南町	印南町役場産業部 0738-42-1737
10月上旬	キイジョウロウホトト ギス見頃	熊野那智大社 (那智勝浦町) 佐本地区 (すさみ町)	熊野那智大社 0735-55-0321 すさみ町キイジョウロ ウホトトギス守る会 0739-57-0404
10月中旬	アジアカエビの水揚げ	雑賀崎漁港、和歌 山北漁港・海南市 漁港 (和歌山市・海南市)	海草振興局農業水産 振興課 073-441-3380

～編集後記～

暑い日が続きますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。
今月も「和歌山だより」をご覧くださいありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない中、外出や帰省、旅行にも慎重にならざるを得なくなり、困ったなあと思われている方も少なくないと感じます。「ずっと家の中に閉じこもっているとストレスになるわ」とおっしゃる方も多く、「コロナが収まったらどこに出かけようかと努めて楽しいことを考えるようにしているのよ」ともお聞きします。ストレスが健康に悪さをするのは、みなさまご存じのとおりです。確かに、ストレスと健康、元気度は何らかの関係があると実感する機会は多い気がします。

そんな中、冒頭の知事メッセージで、「元気な人」が多い都道府県ランキングで和歌山県が男女とも1位になったという話題をお伝えしています。和歌山県が、何かで1位になることはめったにありません。しかも男女とも1位というのは快挙です。

とてもうれしいので、ストレスフリーわかやまの元気の素は何かと周りを見わたしてみました。まず、年中おいしい食べ物がたくさんあること、観光を楽しめるスポット、美しい海や山、清流が県内各地にあること、近隣で農業を楽しめる住まいがあること、通勤電車も混み合っていないので降りるのを忘れるくらい読書三昧などなど。普段、当たり前と思っていたことがこんなに元気をくれていたとは、こんなに恵まれていたとは、感謝の気持ちでいっぱいになりました。また、元気の素に思いを巡らせているうちにますます元気になり、ワクワクしてきました。元気なわかやま、まだまだあると思います。みなさま、コロナ禍が落ち着いた折には、よろしければ和歌山にお越しただければと存じます。元気なわかやまを見つけていただけるかもしれません。みなさまのイメージと和歌山の地で感じていただいたこと、ご覧いただいた風景などを比べていただき、答え合わせをするのも楽しいかもしれません。

今年もマスクが離せない夏となりました。みなさま、熱中症にはくれぐれもお気を付けてお過ごしください。

知事室 秘書課長 西山 雅美



★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので、ぜひご覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願います。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」
の発行以外の目的には、使用いたしません。



2022年（令和4年）8・9月 NO.172

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026